



さいたま市立浦和大里小学校研修フィードバック



6月12日（木）は、全校職員で5時間目に研究授業を参観します。授業者の高野先生をはじめ、理科サークルの先生方、ご準備ありがとうございます。当日の授業もよろしくお願いいたします。

授業後は、研究協議会があります。先生方、一人ひとりの学びを深め、授業力を向上させるために、「協議会」は欠かすことができない大切な時間です。学びが多く、充実した協議会にするために、以下の4点を意識して取り組んでいきましょう。

①「授業者から」では、反省点でなく、主張点を伝える。

本年度の浦和大里小学校の研究では、主張点＝学びのポイントになります。失敗なんて、当たり前です。今回の努力を自信をもって伝えましょう！

②「3＋1」で伝える。

協議会では、「良い点」を3つ、「マイアイデア（自分だったら...）」を1つの「3＋1」のイメージで伝えましょう！良い点はまねをしたいところであり、協議会で良い点があふれると学びがどんどん深まりますね。

③話し合いを深める際は、研究主題や各サークルのテーマ、学びのポイントと関連づける。

マイアイデア（自分だったら...）について、参観者の方々ならどうするか、様々な角度から考え、意見を出し合うことで、新たなものの見方や考え方につながります。「主語は子ども」、「本時の目標（評価を含む）」の視点は忘れないようにしたいですね。

※次の資料を積極的に活用しましょう。「さいたま市の学校教育 推進の指針・指導の努力点」、「小学校学習指導要領」等）

④経験年数の浅い先生から発表する。

「教員一人ひとりが主体的に学ぶ」ためには、自分の考えを表現することが大切です。協議会は、議論の場であるため、同じ意見をなるべく重ねないようにしたい。経験豊富な先生が最初に意見を言ってしまうと、経験が浅い先生はその人と違う意見を言うことはできるでしょうか？ 経験豊富な先生が後半に発言することのよさとして、経験が浅い先生の発言を聞きながら、その場でコメントすべき発言内容を探することができるのが挙げられます。「全員発言」で学びを深めましょう！